

令和6年度 学校評価に関するアンケート結果まとめ（教職員・児童・保護者・学校関係者）

出雲市立須佐小学校

※評価の記号 A=そう思う B=だいたいそう思う C=あまりそう思わない D=そう思わない E=わからない（合計が100%にならない場合もあります。）

目 標 点	ふるさとを愛し 自他を大切に作るやさしい子(豊かな心)					共に学び続ける子(確かな学力)					目標に向かって努力する子(健やかな体と心)											
	人間関係形成力の育成	人権意識や人権感覚を育む人権・同和教育の推進	6年間を見通したふるさと教育の充実	評価項目 数字(%)		主体的・対話的な学習の実践	思考力・判断力・表現力等の育成	評価項目 数字(%)		目標に向かって体力・健康づくりに 粘り強く取り組む力の育成	基本的な生活習慣の形成	評価項目 数字(%)										
具 体 的 施 策	・人とふれあう喜びの実感とソーシャルスキルの習得 ・Q Uアンケートを共通のものとした児童理解 ・のびのびと自己表現ができる学級づくり	・「隠れたカリキュラム」の点検 ・同和問題学習・人権学習・道徳教育の充実	・佐田の「ひと・もの・こと」を最大限に活用 ・地域との密接な連携と体験活動の充実	A	B	C	D	E	・考えを伝え合い、深め合う授業 ・めあてとふり返りで課題解決に向かう授業 ・教師の授業力の向上	・言語活動の充実と表現力の向上 ・ICT活用教育の推進 ・学習規律と家庭学習の定着	A	B	C	D	E	・運動の楽しさやよさを体得する授業・活動の推進 ・体を動かす遊びの奨励、運動の習慣化	・健康・安全に関する自己管理能力の育成 ・食に関する指導の計画的実施 メディア接触に対応した生活リズムの形成	A	B	C	D	E
教 職 員	①子どもたちは、気持ちのよいあいさつや場に応じた言葉づかいをしている。			8	77	15	0	0	①一人一人を大切にしたい指導や支援を行ない、子どもが課題解決に向かえるように努めている。	69	31	0	0	0	①子どもたちは、運動やスポーツを楽しみ、すすんで体を動かしたり遊んだりしている。	62	38	0	0	0		
	②子どもたちは、学級や学校の友だちとなかよく楽しく過ごしている。			31	69	0	0	0	②子どもたちが考えを伝え合い、深め合うように学習を工夫している。	23	77	0	0	0	②目標に向かってねばり強く努力するよう、運動やその他の学習を通して指導している。	77	23	0	0	0		
	③人権を大切にしたい、あたたかい学校・学級づくりに取り組んでいる。			38	54	0	8	0	③漢字や計算など基礎的な力が身に付くよう指導している。 (宿題も含めて)	46	54	0	0	0	③子どもたちは、早寝・早起き・歯磨き等のよい生活習慣が身に付いている。	0	85	15	0	0		
	④地域の材(ひと・もの・こと)を適材適所で生かし、ふるさと教育を進めている。			62	38	0	0	0	④子どもたちは、家庭学習・自主学習の習慣が身に付いている。	23	77	0	0	0	④情報モラル教育を進める中で、節度あるメディアの利用について指導している。	15	69	15	0	0		
子 ども	①気持ちのよいあいさつや場に応じた言葉づかいをしている。			63	33	2	2	①学校では、ていねいで分かりやすい教え方で授業が行われている。	89	9	2	0	①運動やスポーツを楽しみ、すすんで体を動かしたり遊んだりしている。	81	12	5	2					
	②学級や学校の友だちとなかよく楽しく過ごしている。			84	14	0	2	②自分の考えを友だちに伝えたり、友だちの考えを聞いたりして、考えを深めたり、新しい考えを求めたりしている。	67	32	2	0	②自分の目標に向かってねばり強く努力している。	65	30	5	0					
	③学校では、自分は、大切にされていると感じる。			61	33	5	0	③漢字や計算などのきほんの力が付いてきていると思う。	63	37	0	0	③早寝・早起き・歯磨き等のよい生活を心がけている。	63	30	4	4					
	④地域のことを進んで学習し、佐田のひと・もの・ことのよさがわかってきた。(佐田には、いいところあるなあ)			91	9	0	0	④宿題や自主学習などの家庭学習をすすんでしている。	60	28	11	2	④テレビやゲーム、電子メディア等の時間を決め、守っている。	39	37	18	7					
保 護 者	①お子さんは、気持ちのよいあいさつや場に応じた言葉づかいをしている。			26	66	5	3	0	①学校は、一人一人を大切にしたい指導や支援を行ない、子どもが課題解決に向かえるように努めている。	61	32	3	0	5	①お子さんは、運動やスポーツを楽しみ、すすんで体を動かしたり、遊んだりしている。	53	32	11	3	3		
	②お子さんは、学級や学校の友だちとなかよく楽しく過ごしている。			71	24	0	0	5	②学校は、子どもたちが考えを伝え合い、深め合うように学習を工夫している。	45	45	0	0	11	②学校は、目標に向かってねばり強く努力することを、運動やその他の学習を通して指導している。	32	45	8	0	16		
	③学校は、人権を大切にしたい、あたたかい学校・学級づくりに取り組んでいる。			66	29	3	0	3	③学校は、漢字や計算など基礎的な力が身に付くよう指導している。 (宿題も含めて)	47	47	3	0	3	③お子さんは、早寝・早起き・歯磨き等のよい生活習慣が身に付いている。	34	50	13	3	0		
	④学校は、地域の「ひと・もの・こと」を探るふるさと教育を推進している。			71	26	3	0	0	④お子さんは、宿題や自主学習などの家庭学習をすすんでしている。	32	47	13	5	3	④お子さんは、テレビやゲーム、電子メディア等の時間を決め、守っている。	29	21	34	16	0		
対 応 等	①よびかけ委員会に問題提起を行い、委員会としてできることを具体的に考え、取り組ませる。 ①職員同士で児童の様子を伝え合い、各学級での全体指導につなぐ。 ③だんだんタイムの時間を確保していく。※子③教育相談の時間を確保していく。								④興味関心が湧くように、ICTを活用した内容(タブレットドリル等)を自学で取り入れる。 ④自学をしてきている児童のよい内容を紹介したり、児童どうして見せあって一言コメントを書かせたりして、意欲が湧くようにする。					①②わからないと回答された方が多いので学校での取組をお便りなどで発信していく。(縄跳び・鉄棒カード、どじょうすくいカード、パワーアップなど) ③④養護教諭と連携を図り、学活での指導を計画的に行う。								
学 校 関 係 者	「特になし」								○自主学習の内容について、子どもが「何をしたらよいかわからない」といった状況がある。担任によっても自主学習の出し方が異なるようだが、取り組み方について基準のようなものはあるか。(学校関係者質問)→学校では学習につながる内容や子どもの実態に合わせた取組を行っている。					○早寝・早起き・歯磨き等の生活習慣やメディアとの接し方については、永遠の課題であると言えよう。地域・家庭・学校で連携する中で取り組むとよいのではないかと。その時々で知恵を出し合って子どものよりよい生活習慣の向上に向かうとよい。(学校関係者意見)								

保 護 者	①お子さんの中に、安全意識や規範意識が育っている。	21	66	8	3	3
	②学校は、安全で生活しやすい環境づくりに努めている。	50	45	0	3	8
	③学校は、教育方針や学校の様子を分かりやすく伝えている。	55	29	8	0	8
	④何かあれば、気軽に相談できる学校である。	66	29	5	0	0
対 応 等	①今後も計画的な安全教育の実施や生徒指導部を中心とした規範意識の向上に向けて取り組む。 ③今後も、ブログや校長室だより、学級便り等を通じて、学校でのさまざまな場面の子どもたちの様子や教育方針を伝えていく。					

... 「A(そう思う)」「B(ややそう思う)」の割合が90%以上  
 ... 「C(あまりそう思わない)」「D(そう思わない)」の回答(または「わからない」)の割合が10%以上、または割合は低い気になる回答

<保護者自由記述>  
 ・きついことを言われたりすることがたまにあるらしい。  
 ・以前から地域行事に先生方のお顔を拝見することが多く、須佐小学校の先生方は須佐のことを大切に思っていて下さってるなぁと感じています。これからも宜しくお願いします。  
 ・先日子どもが言ったことに、すぐに対応していただきました。こまめに連絡もいただき、大変ありがたいです。今後ともよろしくお願いします。  
 ・放課後に遊べないのはなんか寂しい感じがしています。小さなケガから大きなケガに繋がっていくこともあるかと思いますが、小さなケガから学べる事もあると思っています。先生方の見守りなど負担はあると思いますが、時間などルールを決めるなどして、少しでも友達と遊んで帰ってほしいです。

ICTを活用した教育について、今年度の取組	働き方改革について、今年度の取組
・各学年情報活用能力指導内容を共有し計画的に学習指導を行った。・3年生が韓国の小学校とのオンライン交流を行い、お互いの学校の様子について紹介した。 ・職員研修でタブレット端末を活用し、意見交換に生かした。 ○学校関係者の意見 ・今後とも充実した実践を継続してほしい。	・学期末の校務整理や再編統合に係る準備についての時間を確保するため、児童の下校を早める等を行った。 ・緊急校務支援員やSSSの配置に伴う担任の負担軽減につながった。 ○学校関係者の意見 ・今後も教職員の負担軽減に取り組んでほしい。